
ペタアリ小説

流麗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ペタアリ小説

【コード】

N2024H

【作者名】

流麗

【あらすじ】

ペーターとアリスの恋物語ですたまに結婚ネタや妊娠ネタがありますので苦手な方は注意

泣かない

「愛してます アリス
だからここを好きになってくださいね」

僕を好きになれとはいわないのね

だって彼は臆病だから
一方的な愛の伝え方しか知らない

「わかってるでしょう。私は帰らないといけないの」
みんな待ってるんだから

そう みんな…

「そうですか
でもあなたは帰れない
帰りたいならもうとっくに帰れているはずなんですから」

ああ何度目だろう
この水掛け論

「大好きですよ アリス」
帰らなきゃだめなの

そう たとえそれが感情ではなく責任感だったとしても

私は

「泣かないでください僕あなたが泣くとどうしていいかわかりません…泣かないで…」

「泣かないわ

そんな乙女チックじゃないの私」

それによつぽど

「あなたの方が泣きそうじゃないの」

「泣きそう？僕がですか？」

「ええ 泣きそうよ

赤い目がウルウルしてるわ」

そついうとペーターはおもむろに目をこすった

「ちよっ！止めなさいよっ傷がついたらどつどつするのっ？」

私が無理やりペーターの腕を引っ張ってやめさせる

「ほんとにもう…充血してるじゃないの」

手加減なしでこすったせいでペーターの赤い瞳は真っ赤に充血していた

「僕が泣いたらアリスが困ります…」

「は？」

「僕はアリスを困らせたくない……」

…

「馬鹿……」

「ええっ酷いです」

「あんたが泣いたくらいで困らないわよ
ほんとに困るのは……」

あなたの存在よ

私をこの世界から出させてくれない

「ほんとに困るわ」

チラっペーターをみるとまだ涙をとめようと頑張っていた

はあ… 私どうして好きになっちゃったんだろ…

e n d

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2024h/>

ペタアリ小説

2010年10月13日11時46分発行